



JFE システムズ 株式会社

JFE

# DISCLOSURE REPORT 株主のみなさまへ

2012年度上期ご報告

(2012年4月1日—2012年9月30日)



# 「上期は増収増益を達成。中期重点施策への取り組みにも手応え。お客様の課題を解決する企画・提案力を備えた人材を増強し、更なる成長施策を推進いたします。」

2012年度上期の決算をふまえ、今後のJFEシステムズの取り組みについて菊川代表取締役社長がお答えします。



**Q** 2012年度上期決算について、どのように評価しますか？また通期の見通しについても教えてください。

**A** 今上期は増収増益を達成、中期重点施策の推進に手応え。

今上期は中期経営計画(2011～2014年度)の2年目として、外販事業では、「SI顧客基盤の強化・拡大」と「自社開発商品の展開を中心としたプロダクト・ソリューション事業の更なる成長」を目指し、戦略的な営業活動や競争力強化のための施策を実施いたしました。鉄鋼向け事業では、全社横断的な検討チームを立ち上げ、全社最適の視点で体質強化に取り組み、グローバル連携を含む具体的なIT化テーマの企画・提案を進めています。

この結果、製造流通向けやERP、BIシステム事業において業績を伸ばし、前年同期比増収増益を達成しました。中期重点施策への取り組みが収益面でも実を結びつつあり、手応えを感じています。

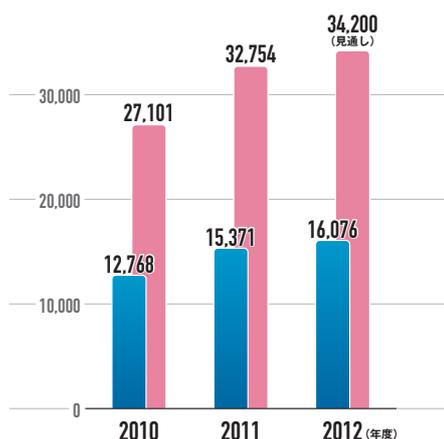
通期見通しに関しては、製造流通SI事業や食品ソリューション事業の売上高の増加を見込み、売上高は期初予想に対して上方修正いたしますが、経常利益に関しては、経営環境の不透明さを考慮し、期初予想860百万円(前期比+2.2%)に据え置くことといたします。

## 連結財務ハイライト

■ 上期 ■ 通期

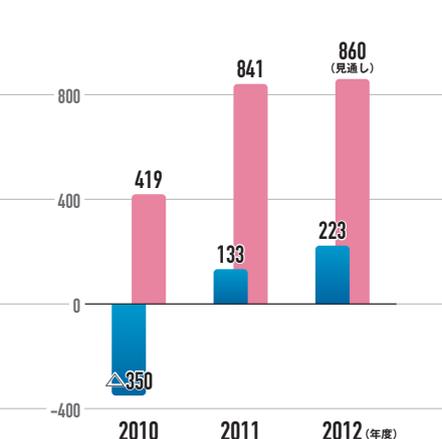
### 売上高

(単位:百万円)



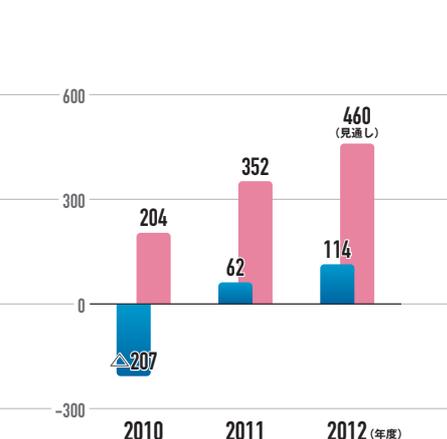
### 経常利益

(単位:百万円)



### 当期純利益

(単位:百万円)



## Q 「SI顧客基盤の強化・拡大」についての取り組みと今後の打ち手は？

### A 二つのアプローチで、一層の強化・拡大をはかる。

「SI顧客基盤の強化・拡大」に向けては、「既存顧客での領域拡大」と「新規SI開拓」の二つのアプローチで臨んでいます。「既存顧客での領域拡大」では、いかにお客様の信頼を得られるかがカギになります。幸い自動車メーカーを中心に当社の技術力は高い評価をいただいております、担当業務領域が拡大しています。

「新規SI開拓」に向けては、基幹システムであるERPとSCMや原価採算管理、最適化などの実績ある自社ソリューションを組み合わせた当社ならではの「複合ソリューション」を提案。取引のあったお客様を繰り返し訪問する「巡回営業」と併せて推進することで、受注、引合は着実に増加しています。

## Q 「プロダクト・ソリューション事業の更なる成長」についての取り組みと今後の打ち手は？

### A お客様のニーズの変化にいち早く対応し、競争力強化のための進化と改良を継続。

お客様から高い評価をいただいている自社プロダクト・ソリューションを保有することが、当社の大きな強みです。このビジネスを成長させていくためには、市場ニーズにすばやく対応して、パッケージの改良やコンセプトの見直しを実施し、商品を進化させていくことが不可欠です。

たとえば食品ソリューションでは、原料配合、表示に関する法規制へのきめ細かい対応ニーズが拡大しています。当社はこのニーズに対応し、既存の商品である「Mercurius」と「Quebel」を統合し、品質管理トータルソリューション

「MerQurius」を積極的に展開しています。併せてフードチェーンにおける品質管理強化のため、クラウド型のMerQuriusネットサービスを立ち上げます。原料～食品加工メーカー間の情報連携をはかるべく、共通化のための様々な議論・すり合わせを行っています。

eドキュメントでは、電子帳簿保存法対応の要件明確化の動きに対応し、「DataDelivery」の販売を本格化させることで、お客様からの新たな需要の掘り起こしにつなげています。

## Q 今後の中期戦略推進のポイントは？

### A 上流フェーズ(企画・提案)人材の育成により、更なる成長施策を推進。

当社のすべての事業に共通するポイントは、IT化の上流フェーズ(企画・提案)から参画し、お客様の経営課題をいかに共有できるかということです。このため、今期は鉄鋼システムで経験を積んだ約30名の要員を外販分野にシフトするとともに、お客様の課題を解決する企画・提案力を備えた人材の育成を進めています。これらの人材を核とし、更なる成長施策を推進していきたいと考えています。

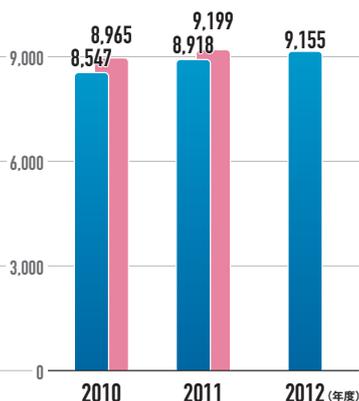
株主の皆様におかれましては、このような当社の取り組みについてご理解をいただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 菊川裕幸

## 〈通期見通し〉

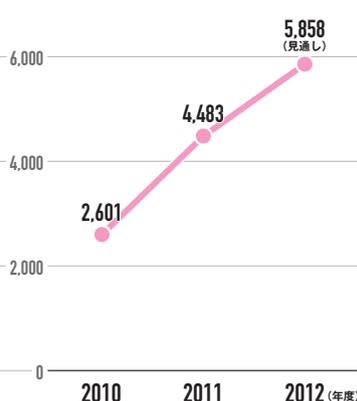
### 純資産

(単位:百万円)



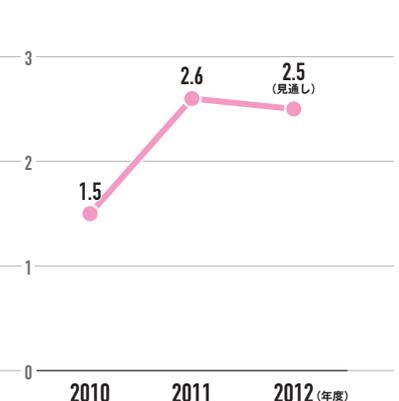
### 1株当たり当期純利益

(単位:円)



### ROS (= 経常利益 / 売上高)

(単位:%)



## 2012年度上期の実績(連結)

### 売上高

#### プロダクト・ソリューション事業

- ▶ eドキュメント、原価採算管理などで順調に事業を推進

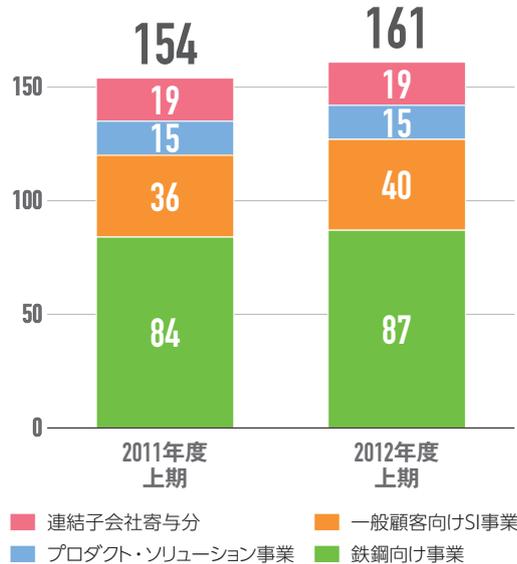
#### 一般顧客向けSI事業

- ▶ 自動車メーカー向けの担当領域で売上を拡大。ERPを核とした複合ソリューション提案により製造流通向けSI事業の新規受注・売上が拡大

#### 鉄鋼向け事業

- ▶ JFEスチール向け売上は、ほぼ前期並みで推移
- ▶ 一部JFEグループ会社向けで売上が増加

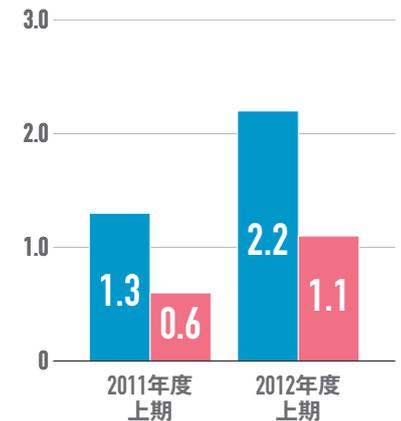
(単位:億円)



### 経常利益および当期純利益

(単位:億円)

■ 経常利益 ■ 当期純利益



- ▶ 売上高増加による増益に加え、営業外損益改善(前期に廃却損・評価損が発生)により経常利益、当期純利益が増加

## 2012年度通期の見通し(連結)

### 売上高

#### プロダクト・ソリューション事業

- ▶ 食品品質管理トータルソリューション「MerQurius」の展開を強化し、売上増加を見込む

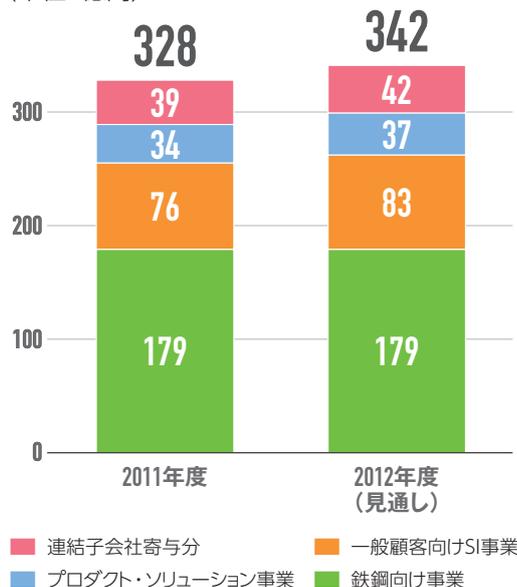
#### 一般顧客向けSI事業

- ▶ 上期の取り組みを継続、強化し、製造流通SIの売上拡大をはかる

#### 鉄鋼向け事業

- ▶ 鉄鋼業界を取り巻く経営環境を考慮し、前期比横ばいを見込む

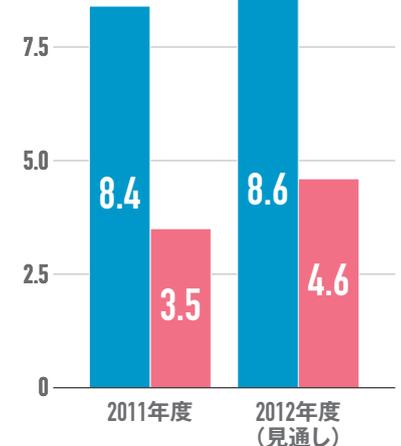
(単位:億円)



### 経常利益および当期純利益

(単位:億円)

■ 経常利益 ■ 当期純利益



- ▶ 前期に対して売上高、経常利益とも増加を見込む
- ▶ 繰延税金資産の取り崩しが今期は発生しないため、当期純利益の増加を見込む

### 連結貸借対照表

単位:百万円

2011年度末  
(3月31日)      2012年度  
上期末  
(9月30日)      差

| 資産の部        |        |        |        |
|-------------|--------|--------|--------|
| 流動資産        | 11,095 | 11,584 | 1 489  |
| 固定資産        |        |        |        |
| 有形固定資産      | 2,353  | 2,293  |        |
| 無形固定資産      | 2,508  | 2,641  |        |
| 投資その他の資産    | 2,273  | 1,836  |        |
| 固定資産合計      | 7,134  | 6,769  | 2 △364 |
| 資産合計        | 18,229 | 18,354 | 3 125  |
| 負債の部        |        |        |        |
| 流動負債        | 6,477  | 6,604  |        |
| 固定負債        | 2,553  | 2,594  |        |
| 負債合計        | 9,030  | 9,198  | 4 169  |
| 純資産の部       |        |        |        |
| 株主資本        |        |        |        |
| 資本金         | 1,391  | 1,391  |        |
| 資本剰余金       | 1,959  | 1,959  |        |
| 利益剰余金       | 5,553  | 5,510  |        |
| 株主資本合計      | 8,903  | 8,860  |        |
| その他の包括利益累計額 | 13     | 13     |        |
| 少数株主持分      | 283    | 282    |        |
| 純資産合計       | 9,199  | 9,155  | 5 △44  |
| 負債純資産合計     | 18,229 | 18,354 |        |

### 連結損益計算書

上期(4月1日~9月30日) / 単位:百万円

2011年度  
上期      2012年度  
上期

|                |        |        |
|----------------|--------|--------|
| 売上高            | 15,371 | 16,076 |
| 売上原価           | 12,751 | 13,376 |
| 売上総利益          | 2,619  | 2,700  |
| 販売費および一般管理費    | 2,441  | 2,489  |
| 営業利益           | 179    | 211    |
| 営業外収益          | 18     | 23     |
| 営業外費用          | 64     | 11     |
| 経常利益           | 133    | 223    |
| 税金等調整前上期純利益    | 133    | 223    |
| 法人税、住民税および事業税  | 65     | 120    |
| 法人税等調整額        | 3      | △10    |
| 少数株主損益調整前上期純利益 | 65     | 113    |
| 少数株主損益         | 3      | △1     |
| 上期純利益          | 62     | 114    |

### 連結キャッシュ・フロー計算書

上期(4月1日~9月30日) / 単位:百万円

2011年度  
上期      2012年度  
上期      差

|                  |       |       |        |
|------------------|-------|-------|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 853   | 415   | 6 △439 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △965  | △265  | 7 700  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △327  | △350  | 8 △23  |
| 現金および現金同等物の増減額   | △439  | △201  |        |
| 現金および現金同等物の期首残高  | 2,116 | 2,749 |        |
| 現金および現金同等物の期末残高  | 1,677 | 2,548 |        |

#### POINT 1 | 連結貸借対照表

- 1 流動資産 ⇒ 489百万円増加  
(棚卸資産の増加等)
- 2 固定資産 ⇒ 364百万円減少  
(投資有価証券の償還により投資その他の資産が減少)
- 3 資産合計 ⇒ 125百万円増加
- 4 負債合計 ⇒ 169百万円増加  
(前受金の増加等により流動負債が増加)
- 5 純資産合計 ⇒ 44百万円減少  
(上期純利益114百万円に対し、配当金支払157百万円のため利益剰余金が減少)

#### POINT 2 | 連結キャッシュ・フロー計算書

- 6 営業活動によるキャッシュ・フロー  
⇒ 前年上期比439百万円減少  
(棚卸資産の増加・法人税等支払の増加)
- 7 投資活動によるキャッシュ・フロー  
⇒ 支払超過額700百万円減少  
(投資有価証券の償還等)
- 8 財務活動によるキャッシュ・フロー  
⇒ 支払超過額23百万円増加  
(配当金の支払額増加)

## 中期計画の目標と重点施策

引き続き4つの中期重点施策を推進し、中期計画の目標達成を目指す

**目標** (2014年度) 売上高: **380**億円 ROS(=経常利益/売上高): **5.0**%

### 重点施策

#### 施策1

#### 鉄鋼事業統合を梃子にした体質強化

- ◎ 組織、地域を越えたシステム共通化
- ◎ 鉄鋼⇄外販ソリューションの相互活用

#### 施策2

#### SI事業基盤の強化・拡大

- ◎ 既存顧客での領域拡大(自動車等)
- ◎ 新規SI開拓(複合ソリューション提案+巡回営業)

#### 施策3

#### プロダクト事業の更なる成長

- ◎ 食品ソリューションの強化・拡大
- ◎ 電子帳票のトップシェア維持と新規展開

#### 施策4

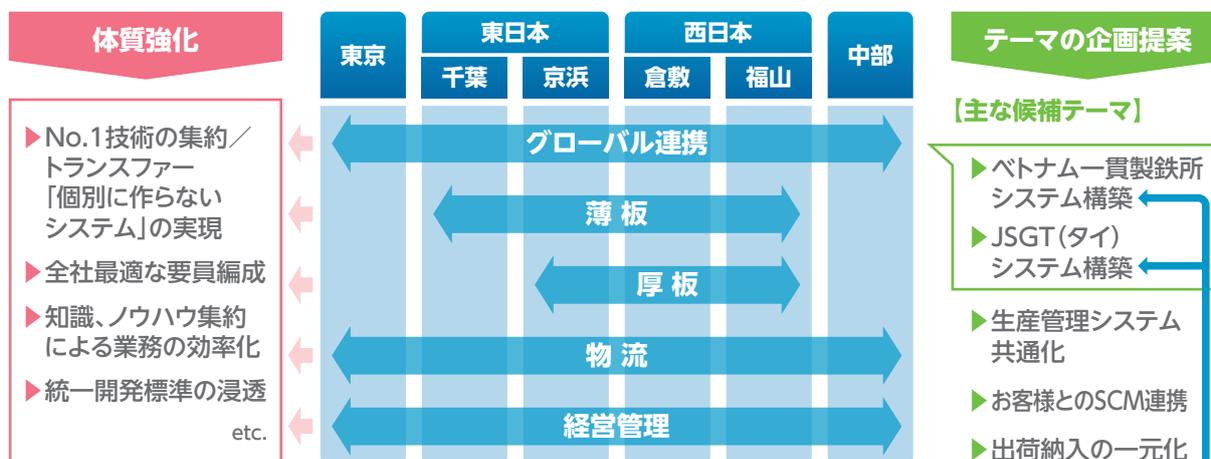
#### 施策推進の核となる 上流フェーズ(企画・提案) 人材の育成

## 施策1 鉄鋼事業統合を梃子にした体質強化

### 狙い

組織、地域を越えて、システム共通化への課題を研究  
～製鉄所レガシーシステムのリフレッシュプラン作成

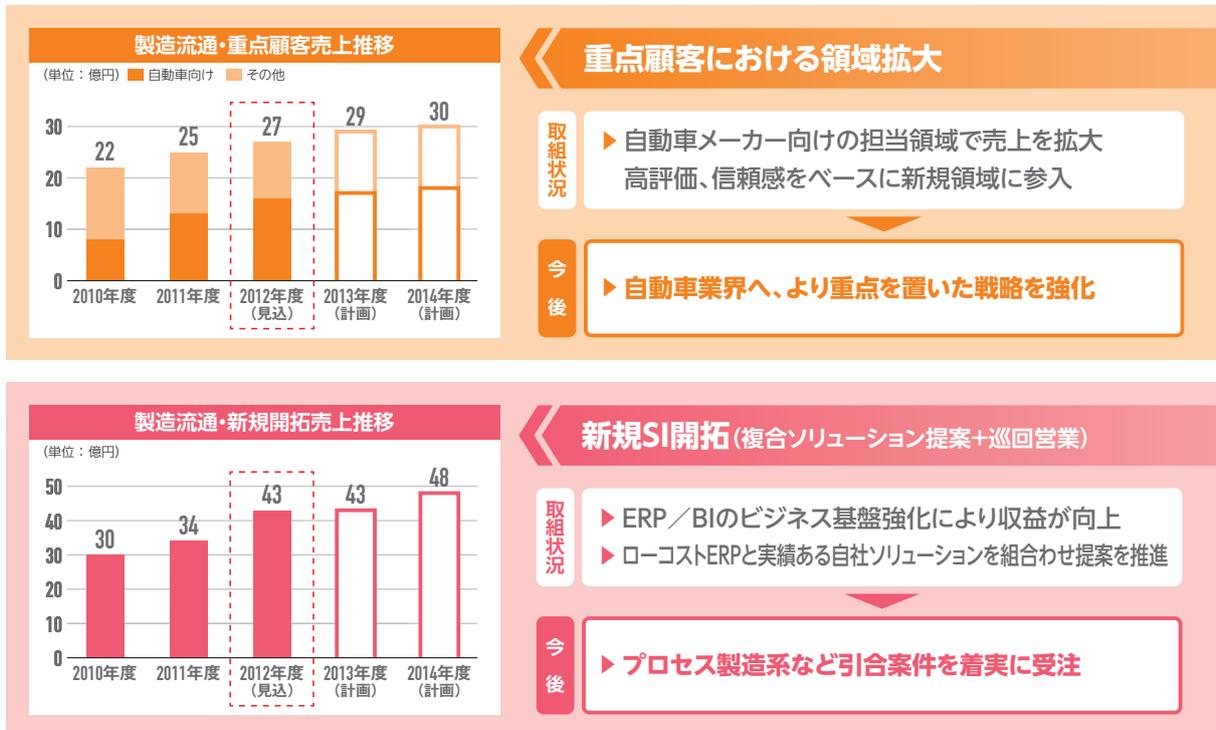
- 1 システムのありたい姿を描く 2 具体的なシステムテーマの企画提案/推進



外販で培った技術・ソリューションを鉄鋼事業へ適用(Dynamics AX、J-COREs等)

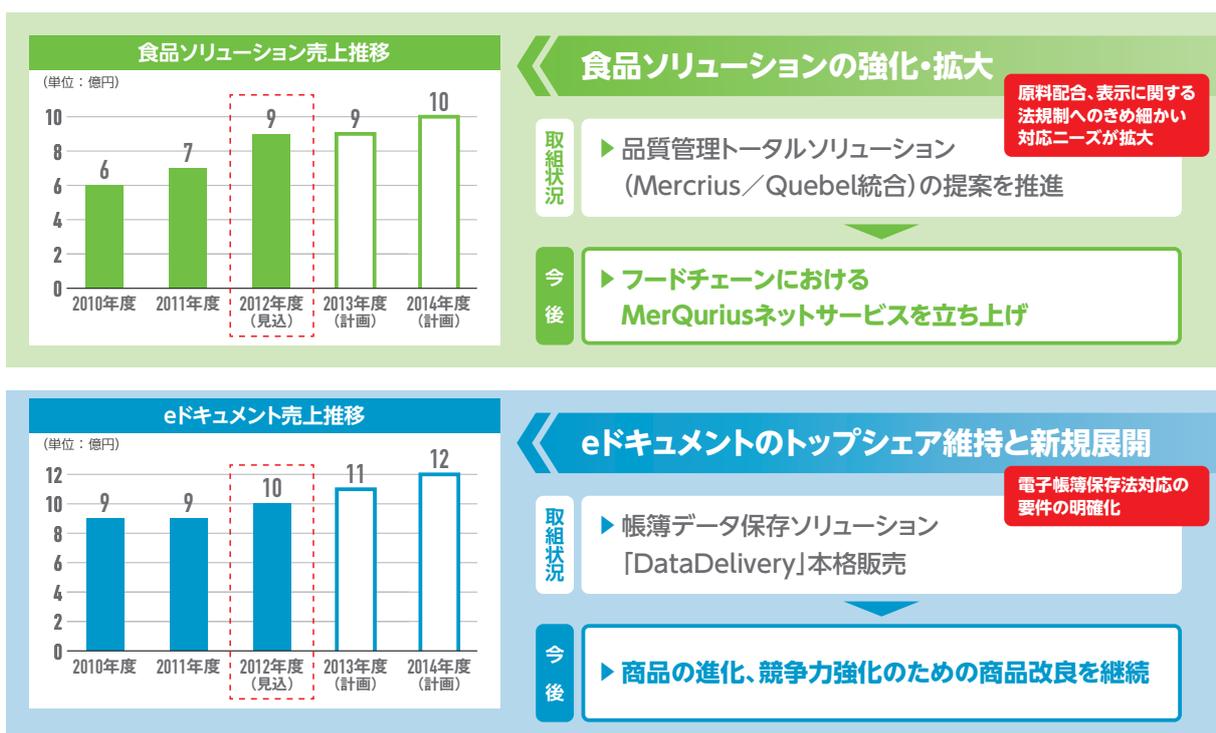
## 施策2 SI事業基盤の強化・拡大

「既存顧客での領域拡大」と「新規SI開拓」の二つのアプローチで製造流通SI事業を拡大する



## 施策3 プロダクト事業の更なる成長

市場ニーズに対応し、自社商品の競争力強化、進化を推進する



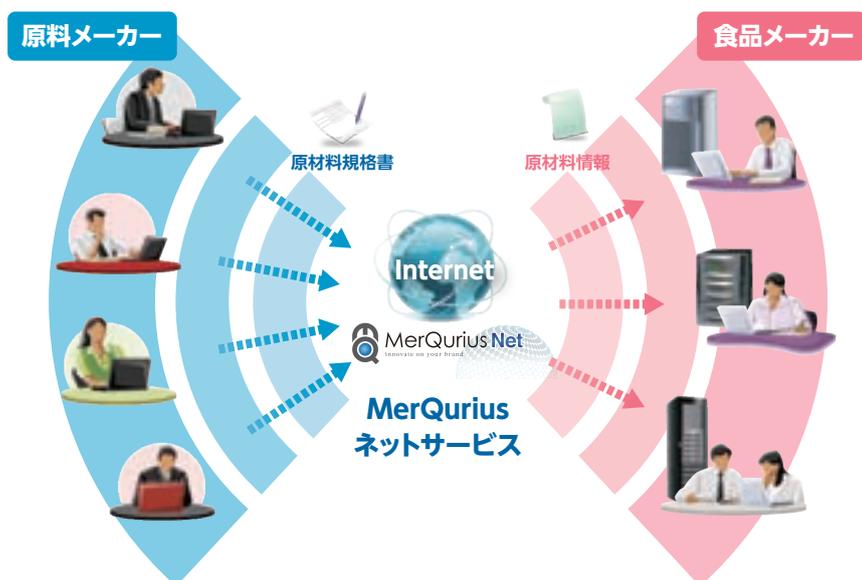
## JSGTシステム構築プロジェクト



当社は、JFEスチール（株）の海外事業展開に沿って、タイで自動車用亜鉛メッキ鋼板を生産するJFE STEEL GALVANIZING (THAILAND) LTD.向けシステムを現在構築しています。

システム構築にあたっては、ERPを核として、原価採算管理システムや需給管理システムなど、当社が展開するソリューションを適用して海外生産拠点向け標準システムを開発。今後のJFEスチール（株）の海外プロジェクトにも、本システムをベースとして横展開していく予定です。また、これらの経験を通じてノウハウを蓄積し、外販事業においても、お客様のグローバル化をサポートするシステムを展開していきたいと考えています。

## MerQurius ネットサービス



食品原料メーカーは、納入先の食品メーカーに原材料に関わる情報（原材料規格書）を提示しています。一方、食品メーカーは、各社各様の形式・手段で原料メーカーより情報を取得していますが、情報収集率や情報レベルのばらつきによる業務負荷の重さは、双方のメーカーにとって長年の課題でした

これらの課題解決を図るべく、当社はお客様とともに議論・すり合わせを行い、クラウドによる原材料情報の交換と共通利用のサービスを開発いたしました。2012年11月より運用を開始し、今後多くの食品メーカーや原料メーカーにサービスを拡大していく予定です。

株主の皆様へ、より見やすく、使いやすいホームページを実現するために、デザインを一新  
**ホームページを全面リニューアル! いたしました。**

2012年10月22日に当社ホームページを全面リニューアルいたしました。社員の顔が見えるウェブサイトを目指し、社員に焦点を当てた「プロフェッショナルコラム」などの新しいコンテンツを増やしました。また、最新のWebコーディング技術の採用や、スマートフォン向けのサイトを新設するなど、より見やすく、使いやすいホームページの実現を図りました。ぜひ一度ご覧ください。

PC向け <http://www.jfe-systems.com/> スマートフォン向け <http://www.jfe-systems.com/smp/>



[トップページ]



[当社の強み]

来年30周年を迎える当社の歩みを総括して紹介しております。



[プロフェッショナルコラム]

社員が語るコラムです。



[投資家の皆様へ]

決算短信や決算説明会資料など、様々なIR資料を掲載しております。



## 会社の概要

|        |  |
|--------|--|
| 名称(商号) | JFEシステムズ株式会社<br>JFE Systems, Inc.                                |
| 本社所在地  | 〒130-0012<br>東京都墨田区太平四丁目1番3号<br>オリナタワー17階<br>電話 03-5637-2100(代表) |
| 設立     | 1983年9月1日  |
| 資本金    | 1,390,957千円  |

|         |  |
|---------|--|
| 主な事業内容  | 情報システムのインテグレーション<br>および運用・保守など                     |
| 従業員数    | 1,851名   |
| 子会社の状況  | 当社の議決権比率<br>KITシステムズ株式会社 67.5%<br>JSU, Inc. 100.0% |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所第二部(証券コード:4832)                             |

## 経営体制

|     |         |        |
|-----|---------|--------|
| 取締役 | 代表取締役社長 | 菊川 裕 幸 |
|     | 取締役     | 堀田 善 一 |
|     | 取締役     | 渡部 尚 史 |
|     | 取締役     | 山本 崇 博 |
|     | 取締役     | 宮原 一 昭 |
|     | 取締役     | 福村 聡   |
|     | 取締役     | 上條 巧   |
|     | 取締役     | 北山 直 人 |
|     | 取締役     | 都築 正 行 |

※ 取締役北山直人および都築正行の両氏は社外取締役であります。

|     |       |        |
|-----|-------|--------|
| 監査役 | 常勤監査役 | 杉 充    |
|     | 常勤監査役 | 深川 均   |
|     | 監査役   | 岡井 哲   |
|     | 監査役   | 原田 敬 太 |

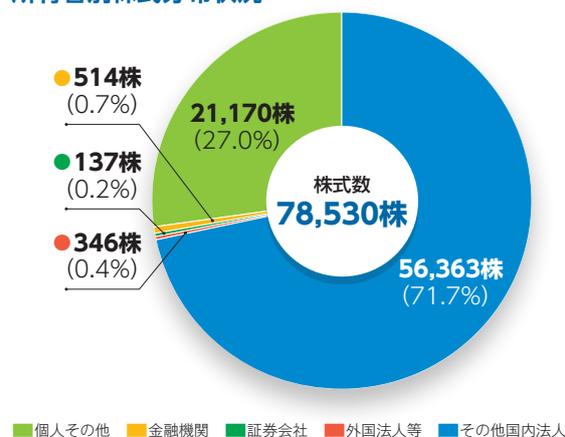
※ 監査役深川均および岡井哲の両氏は社外監査役であります。

|      |         |         |
|------|---------|---------|
| 執行役員 | 社長(CEO) | 菊川 裕 幸  |
|      | 専務執行役員  | 堀田 善 一  |
|      | 常務執行役員  | 渡部 尚 史  |
|      | 常務執行役員  | 山本 崇 博  |
|      | 常務執行役員  | 宮原 一 昭  |
|      | 常務執行役員  | 福村 聡    |
|      | 常務執行役員  | 上條 巧    |
|      | 執行役員    | 金藤 秀 司  |
|      | 執行役員    | 佐々木 富 雄 |
|      | 執行役員    | 柏原 大 造  |
|      | 執行役員    | 國安 誠    |

## 株式の状況

|          |          |
|----------|----------|
| 発行可能株式総数 | 338,050株 |
| 発行済株式総数  | 78,530株  |
| 株主数      | 1,860名   |

### 所有者別株式分布状況



### 大株主

| 株主名            | 当社への出資状況 |       |
|----------------|----------|-------|
|                | 所有株式数    | 持株比率  |
| JFEスチール株式会社    | 51,165株  | 65.2% |
| JFEシステムズ社員持株会  | 6,734株   | 8.6%  |
| 富士通株式会社        | 2,500株   | 3.2%  |
| アトラス情報サービス株式会社 | 500株     | 0.6%  |
| JFEアドバンテック株式会社 | 500株     | 0.6%  |
| JFE電制株式会社      | 500株     | 0.6%  |
| JFEメカニカル株式会社   | 500株     | 0.6%  |
| JFE物流株式会社      | 500株     | 0.6%  |
| 三井住友信託銀行株式会社   | 500株     | 0.6%  |

## 事業所紹介

■ **豊田事業所** 【一般顧客向けSI事業】  
愛知県豊田市 トヨタ自動車株式会社、  
トヨタグループ・関連会社向け

■ **中部事業所** 【鉄鋼向け事業】  
愛知県半田市 JFEスチール知多製造所、  
JFEグループ会社向け

■ **関西事業所** 【一般顧客向けSI事業】  
神戸市中央区 関西地区および中国地区向け

■ **西日本事業所** 【鉄鋼向け事業】  
倉敷地区 JFEスチール西日本製鉄所、  
岡山県倉敷市 JFEグループ会社向け

■ **福山地区**  
広島県福山市

■ **海外子会社**  
■ **JSU, Inc.** 米国一般顧客向けSI事業  
米国ニューヨーク州

### 国内子会社

■ **KITシステムズ株式会社** 一般顧客向けSI事業、  
情報通信機器販売、  
東京都台東区 付帯サービス

■ **本社** 【一般顧客向けSI事業】  
東京都墨田区 製造流通顧客向け  
金融顧客向け  
【**プロダクト・ソリューション事業**】  
食品ソリューション  
プロダクト

■ **東京事業所** 【鉄鋼向け事業】  
東京都港区 JFEスチール本社、  
JFEグループ会社向け

■ **幕張システムプラザ** 【一般顧客向けSI事業】  
千葉県美浜区 製造流通顧客向け  
金融顧客向け  
【**プロダクト・ソリューション事業**】  
基盤ソリューション

■ **東日本事業所** 【鉄鋼向け事業】  
千葉地区 JFEスチール東日本製鉄所、  
千葉県中央区 JFEグループ会社向け

■ **京浜地区**  
川崎市川崎区

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 株主総会・期末配当は毎年3月31日  
中間配当を行う場合は9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および  
全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告  
<http://www.jfe-systems.com/ir/stock/houtei.html>  
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることが  
できない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所第二部

## お知らせ

### ●住所変更等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申付けください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されま  
した株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友  
信託銀行株式会社にお申付けください。

### ●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申付  
けください。

### ●「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税  
特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねておりま  
す。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いた  
だくことができます。

\*確定申告をされる株主様は、大切に保管してください。

ご注意 本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要  
因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しと  
は異なる結果となりうることをご承知お願います。



JFE システムズ 株式会社

JFE